

<b>ピラフルフェンエチル乳剤</b> <b>デシカン乳剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農*  <b>原体メーカー：</b> 日農
<b>成分：</b> ピラフルフェンエチル〔フェニルピラゾール系〕…0.40% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> キシレン〔PRTR・1種〕……………23%〈20～26%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………21%〈17～24%〉 ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル〔PRTR・1種〕……………38% 無水マレイン酸〔PRTR・1種〕……………1.0% メチルナフタレン〔PRTR・1種〕……………6.3%〈6.0～6.5%〉 1-ドデカノール〔PRTR・1種〕……………2.0% ナフタレン〔PRTR・1種〕……………1.2%〈最大1.2%〉	<b>性状：</b> 淡黄色澄明可乳化油状液体  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

### 【品目特性】……………

- ばれいしょの茎葉黄変期に茎葉散布することによって枯凋促進作用を示す。
- 散布後3～5日でばれいしょの茎葉が枯凋を始め、7～10日でほぼ完成する。
- 薬剤のばれいしょ塊茎への移行はなく、品質への影響はない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 茎葉枯凋の目的で使用する場合
  - ばれいしょ開花期後30日以降又は茎葉の黄変期に噴霧器でばれいしょの茎葉によくかかるよう散布する。
  - ばれいしょの開花期後30日以降（茎葉繁茂期）に使用する場合は、1回目の散布後、3～6日あけて2回目の散布をする。

○土壌が極端に乾燥している時の使用はさける（維管束褐変）。

- 散布直後に降雨が予想される時には使用をさける。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 周辺の農作物や有用植物にかかるると薬害を生じるので、かからないように注意して散布する。

### 【安全対策上の注意】……………

- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意する。



### 【適用と使用方法】……………

作物名	適用 雑草名	使用 目的	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
ばれいしょ	—	茎葉 枯凋	—	茎葉黄変期 但し、収穫3日前まで 1回目散布： 開花期後30日以降 （茎葉繁茂期） 2回目散布： 1回目散布の3～6日後 但し、収穫3日前まで	250～450 ml	100 ℓ	2回 以内	茎葉 散布	全域	3回以内 （萌芽前は1 回以内、茎葉 繁茂期以降は 2回以内）
	畑地一 年生広 葉雑草	—	全土壌	植付後～萌芽前 （雑草生育期）	150～250 ml		1回	雑草 茎葉 散布	北海道	